

## 第 23 回（令和 3 年度第 4 回）学校運営協議会議事録(対面とオンラインの併用開催)

日時 令和 4 年 3 月 18 日

時間 15 : 30 ~ 17 : 00

Web 会議

(出席者 敬称略)

### 【委員】

- 内川 隆 (本校同窓会長)
- 佐々井 正泰 (横浜市青葉区役所総務部区政推進課企画調整係)
- 鈴木 秀幸 (青葉区大場町在住)
- 横澤 孝泰 (あおば支援学校長)
- 高篠 直江 (本校 PTA 会長)
- 飯島 正徳 (東京都市大学知識工学部教授)
- 佐藤 弘之 (本校校長)

(欠席者)

- 大石 進 (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部客員教授)
- 竹下 恭子 (横浜市立市ヶ尾中学校長)
- 西村 明展 (横浜市市民局スポーツ振興部スポーツ振興課係長)

### 【事務局】

- 米田 朋正 (本校副校長)
- 伊藤 育生 (同 教頭)
- 檜垣 桜子 (同 事務長)
- 諸岡 丈幸 (同 学校運営協議会担当)
- 大矢 真 (同 学校運営協議会担当)
- 齋藤 真 (同 学校運営協議会担当)

### 【本校各グループリーダー】

- 吉行 伸 (本校 カリキュラム開発グループリーダー)
- 本屋敷 隆裕 (同 キャリア支援グループリーダー)
- 吉居 英明 (同 生徒会支援グループリーダー)
- 伊藤 和久 (同 生徒指導グループリーダー)
- 木村 秀樹 (同 管理運営グループリーダー)
- 佐野 英樹 (同 地域連携・広報グループリーダー)

## 1 委員挨拶

## 2 会長挨拶

## 3 校長挨拶

## 4 報告事項《○委員、●学校》

## (1) 学校からの報告

- 卒業証書授与式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から生徒1名につき保護者1名、また、全席指定という制限の中ではあったが無事に395名が卒業できた。
- 人権教育講演会では、1、2学年を対象にダイバーシティ&インクルージョンということで性差別のない社会作りについて学んだ。
- 消費生活出前講座では、成人年齢が引き下げに伴い、消費生活に関する情報、消費者被害に遭わないためのポイントやだましの手口について学んだ。
- 金融教育では金融リテラシーや資産運用など日本では遅れがちな教育分野について学んだ。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、球技大会を実施する予定。
- 3月25日に修了式、離退任式を実施する予定。
- 第49回入学式は県のガイドラインに基づいて実施する予定。
- 入学者選抜については資料のような流れで行った。
- 本来、令和3年9月に47期生の修学旅行を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり中止となった。しかし、その代替行事として令和4年6月の中旬に関西方面での宿泊学習を考えている。
- 第三者評価では総括助言を頂き、本校の成果と課題が見えてきたので今後の活動に活かす。
- 進路に関する満足度調査を行ったところ、教員が相談にのってくれた回数が多いという結果であった。しかし、相談数のわりに進路意識の向上にはつながらなかったため、今後改善していく。

## (2) 令和3年度学校評価報告書について

### [カリキュラム開発G]

- 令和4年度から学習指導要領が変更される。カリキュラムマネジメントの視点から、本校の育てたい人物像を意識し、具体的な教育活動の方針を政策した。また、本校は総合的な探究の時間の指定校になっているためプロジェクトチームを中心とした教科横断的な学びの研究を進めている。総合的な探究の時間を中心に各教科において課題対応能力などの育成を目指していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、あまりできなかった。今後の課題としてICTを活用した授業の中で適切に生徒を評価することである。

### [生徒会支援G]

- 本年度は新型コロナウイルスの感染が拡大している中でどう工夫したら行事ができるのかを目標として掲げていた。新型コロナウイルス感染対策を徹底したことで行事は無事にできた。しかし、多くの行事は規模を縮小するなど例年通りに行うことができなかった点が課題である。また、部活動についても新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり大会が中止や時間制限がある中での活動であった。

〔生徒指導 G〕

●遅刻指導や自転車指導などの日常的な指導を徹底することで、道徳観や規範意識を高めている。また、人権研修会を通じて他者との違いを認め合うとともに、自己肯定感を育てた。今後の課題として、近隣住民から登下校のマナーについて苦情がくることがあるので交通指導を含めた日常的な指導を再度徹底したい。

〔キャリア支援 G〕

●職業分野別説明会などを実施することで高校卒業後の進路や将来像のイメージができるように導けた。進路指導としても全体的な指導だけでなく個別の指導が必要であり、常に相談にのれるような環境を作っている。しかし、教員に気を遣って生徒が遠慮しがちな点もある。良い大学に行かせるというよりも生徒の希望に沿った進路に導くことを引き続き行うとともに、個々で対応できるようにしたい。

〔地域連携・広報 G〕

●成年年齢引き下げを視野に入れ、消費者講座や金融教育を行った。また、青葉警察署と連携してスケアード・ストレイトを実施し、交通事故の怖さや、交通ルールの大切さを学んだ。新たな事業連携については桐蔭横浜大学との部活等の連携、あおば支援学校とのダンスを通じた交流会などを行った。これらの活動は引き続き行い、新たにできるものを模索していく。

〔管理運営 G〕

●校内研修や事故防止会議などを日頃から行い、個々の資質向上を図っている。具体的には8月にアサーティブコミュニケーションをテーマとした職員研修を行い、生徒の気持ちをより理解するようにした。また、長時間勤務の是正を図っており、可能な限りは月2回残業なしの日を作っている。また、勤務時間管理システムを活用し、過労死ラインを超えないようにしている。勤務時間に対する意識は高くなっているが、時期によっては勤務時間が増加してしまう点が課題である。

(質疑応答)

○遅刻の主な要因はどこにあるのか、また、指導する対象は保護者も含まれるのか。

●生活習慣の乱れが主な原因である。今のところ、保護者にまで指導を行った事例はないが改善が見込まれない生徒については保護者に対して指導することも視野に入れている。

○大学進学が多いが、今後はその進路実績をさらに向上をすることを目標にしているのか？また、生徒の自己実現に向けてどのようなことをしているのか。

●進学を意識した生徒が多いため指導としては大学受験を意識しているものは多い。しかし、1番大切なことは良い大学に行くことではなく、本人のやりたいことに合わせた指導である。そのため、1年生の時には職業分野別説明会を実施し、将来の目標を意識させている。

○進学実績だけを意識して偏差値が高い大学に進学させる人はいる。しかし、偏差値の高い大学は進路の幅はあるが、生徒は大学に入った時に自分がやりたかったことの違いからやめてしまう生徒がいる。ぜひ、生徒に合った指導を心掛けてほしい。

○今年度オンラインで授業をしてきたと思うが、オンライン期間中の評価はどのようにつけたか。

●オンライン期間中の評価は課題の配信などを行い、そちらで評価をつけた。

○新カリキュラムになることによって評価はどう変わるのか。

●評価の観点は今までは3～5だったのに対し、新カリキュラムだと統一して3観点になる。

○地域との連携ということで市立の小、中学校や町内会など連絡がとれるところであれば協力するので要望があれば頼ってほしい。

○会議の時間や職員間の業務の偏りの改善策はあるのか。

●朝の時間を有効に使うようにしている。具体的には朝に職員会議を行ったり、Teamsの掲示板に連絡事項を記入している。

○第三者評価で言われた課題は何か。

●学校の取組は良いが、それを外部に発信することがあまりできていないことや、総合的な探究の時間において、生徒に身に付けさせたい能力をあまり習得できなかったことの指摘を受けた。

○具体的に総合的な探究の時間ではどのようなことをしたのか。

●生徒の課題研究にあたる活動を行っているため、一言でどういうものであるということとは言えない。これは生徒が抱いた疑問を基に課題を設定し探究をしているが、その課題設定が一番難しいところである。そのため、総合的な探究の時間に特化した教科書を活用しながら各学年で取り組んでいる。

○相談できている生徒は問題ないが、何を相談すればよいか分からない生徒も問題を抱え込んでいる場合があるのでそのような生徒を見落とさないようにしてほしい。

○地域との連携で学校外の問題を把握してほしい。学習以外のところでも学校の生徒と町内会などのつながりもある。

○学校の評価はどうしても大学の進路実績などで判断しているところが多い。そのため、生徒も有名大学に入学するなどを目標にしてしまい、その先の人生設計を考えていないことが多々ある。大学に入学することをゴールではなく、その先の生徒の人生を考えた指導をしてほしい。

○市ケ尾高校のホームページの特色の欄がエラーになっているため改善してほしい。

○市ケ尾高校がやりたいこととお金や外部との連携などの関係でできない場合は学校外の組織に助けを求めべきである。

●新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、この2年間はあまり活動ができていない。模索はしているので今後の状況を見ながら活動をしていきたい。

○近隣からの苦情の種類にはどのようなものがあるのか。

●一番多いのは登下校のマナーが悪いことである。

○苦情を言ってくる人は学校を気にかけているということなので大切にしてほしい。

## 5 その他

学校運営協議会の規約が変更になったことで任期が2年から1年に変更された。